

3 平成22年度決算（自平成22年4月1日 至平成23年3月31日）

(1) 貸借対照表（平成23年3月31日現在）（単位 円）

資 産 の 部			負 債 の 部		
区分	科 目	金 額	区分	科 目	金 額
流動 資 産	1 現金・預金	41,580,994	流 動 負 債	1 短期借入金	400,000,000
	2 貯 蔵 品	692,990		2 未 払 金	32,256,835
	3 未 収 金	3,077,996		3 未払法人税等	4,397,900
	4 仮 払 金	114,516			
				計	436,654,735
		計	45,466,496	固 定 負 債	リース負債
				負債合計	462,232,735
固 定 資 産	1 建 物	547,567	純 資 産 の 部		
	2 機 械 装 置	902,284	区分	科 目	金 額
	3 車両運搬具	1,752,211	株 主 資 本	1 資 本 金	75,450,000
	4 什 器 備 品	639,520		2 繰越利益剰余金	△457,618,467
	5 リース資産	28,420,000		計	△382,168,467
	6 建設仮勘定	836,190		純資産合計	△382,168,467
	7 出 資 金	1,500,000			
	計	34,597,772			
	資産合計	80,064,268		負債・純資産合計	80,064,268

(2) 損益計算書 (自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)

(単位 円)

科 目	金 額	
売 上 高		281,672,610
売 上 原 価		10,906,739
売 上 総 利 益		270,765,871
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		405,381,353
営 業 損 失		134,615,482
営 業 外 収 益		199,039,989
受 取 利 息	12,569	
業 務 委 託 収 入	47,426,192	
富 山 市 補 助 金	149,330,634	
イ ベ ン ト 収 入	260,477	
雑 収 入	989,205	
そ の 他	1,020,912	
営 業 外 費 用		48,561,081
支 払 利 息	694,382	
業 務 委 託 費 用	47,461,276	
イ ベ ン ト 費 用	199,505	
そ の 他	205,918	
経 常 利 益		15,863,426
特 別 損 失		60,703
固 定 資 産 除 却 費		
税 引 前 当 期 純 利 益		15,802,723
法 人 税 ・ 住 民 税 及 び 事 業 税		4,397,900
当 期 純 利 益		11,404,823

4 平成22年度事業報告

立山山麓の魅力を県内・外に発信するとともに、四季を通して立山山麓の雄大な自然を活かしたイベントを開催しました。

グリーンシーズンは、土・日及びゴールデンウィークや夏休みに観光ゴンドラの早朝・延長運転を行うとともに、トレッキングイベント等の開催により、昨年以上に市民・県民及び観光客の方々に立山山麓の豊かな自然を満喫していただきました。しかしながら、秋の紅葉シーズン時には、天候に恵まれず、ゴンドラの利用者は昨年並みとなりました。

スキーシーズンにおいては、12月18日のスキー場オープン時には積雪に恵まれず、1週間後の12月26日に営業を開始することができました。

その後は積雪にも恵まれ、営業日数は3月21日までの86日間となりました。

昨年より営業期間が短くなったことや、1月の大雪の影響により、利用者は減少しましたが、昨年以上に人員の配置等、経営の合理化に努めたことから、2年連続の黒字となり、経常利益は11,404千円となりました。

シーズン別リフト等利用状況

(単位 人・千円)

項目	利用者数	索道収入
グリーンシーズン	23,802	14,761
スキーシーズン	153,300	237,453
合計	177,102	252,214